

(5) 地域コンソーシアム機関と協働した取組について（地域協働学習実施支援員）

本校生徒の課題研究の取組に関して、コンソーシアム機関を始め県下の自治体・NPO・個人経営者の方々からの多大な協力により、ワークショップ並びにフィールドワークを実施することができた。また、生徒個々の課題研究の内容に関する問い合わせに対しては、元企業の開発者の方の来校や NPO・企業担当者との電子メールやオンラインでのやり取り等の協力を得て、生徒個々の課題研究の進展に資することができた。

外部諸機関へのフィールドワーク及び情報提供の依頼と連絡・調整を行うに当たって、生徒は協力内容を明確化する必要があり、そのために自身の課題研究の過程を一つ一つ振り返って必要な情報を洗い出し、問題点の確認を行った。どの依頼先も、依頼の目的と的確な内容を示すことにより、快く受入れてくださり、生徒の要望や質問に対して丁寧な回答を返していただいた。このように、外部へ活動範囲を広げることにより、生徒にとって新たな気づきを生み、視点の多様化や研究内容の深化につながっていくことを実感した。

以下、各機関等との連携による主な活動内容を記す。

ア 奈良教育大学との連携

- ・令和2年度「課題研究α」選択生徒19名

（内15名：人文社会科学系のテーマ、4名：自然科学系のテーマ（化学3名、地学1名））

の課題研究に係るTAとして、奈良教育大学大学院生1名が11月3週に渡り週1回来校

- ・生徒の課題研究に係る関係機関の紹介と調整

イ 橿原市との連携

- ・公開講座「橿原市の観光・防災・福祉について」

令和2年11月26日（木）橿原市魅力創造部観光政策課及び危機管理部危機管理課による講座と防災ワークショップの開催

- ・市の広報誌「広報 かしはら」の課題研究各講座への配布
- ・生徒の課題研究支援のための市内のNPO等との連絡・調整

ウ 国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所との連携

- ・国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所訪問

令和3年1月6日（水）、「課題研究α」選択生徒がSDGsと観光についての講義とワークショップに参加

エ 奈良県との連携

- ・Web 学校交流の開催

地域振興部観光局観光プロモーション課を通じて、台北市市立稻江高級護理事業職業学校とのマッチングが行われ、Webによる学校交流が実現した。

令和3年1月19日（火）16時～17時

（現地時間15時～16時）、一年生国際交流委員（各クラス2名）による学校生活・文化等について交流

オ その他機関との連携

- ・公益社団法人まちづくり国際交流センター・下市町役場地域づくり推進課・工房きえん・奈良もちいどのセンター街協同組合・田村青芳園茶舗・奈良市役所・奈良にぎわいの家・高知県梶原町役場